

地域でのつながりを！ ～あかいご食堂ボランティア～

7月23日(土)、牧内農村環境改善センターにて実施されたあかいご食堂のボランティアに、本校から7人参加してきました。コロナ禍でも地域の方々と繋がっていたいという思いから、赤瀬川地区の交流の場として立ち上げられたあかいご食堂、当日は多くの交流が見られ、賑わいました。本校参加生徒のうち、食品技術科の生徒は配布されるお弁当の調理を手伝い、総合学科の生徒はレクリエーションの補助や世代間交流などを行いました。

食品技術科2年の松木倫子さん(三笠中出身)は「今回のボランティア活動を通して、地域の方々と深く関わることができました。阿久根市は地元愛が強く、明るくて元気のある市だと改めて実感しました」と参加した感想を述べていました。

近年、新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な世代を交えての交流を行う場がなかなか設けられない状況でしたが、今回のあかいご食堂の取り組みに参加したことをきっかけに、人と人のつながりの大切さを学ぶことができました。



阿久根の自然を守ろう！ ～地域清掃ボランティア～

6月23日(土)、2年生70人が脇本海岸を訪れ、砂浜の清掃を行いました。初めに、NPO法人脇本海岸ウミガメ・シロチドリ会の方々から、前日の晩にウミガメが産卵した話を聴き、ウミガメが海から上陸した跡や産卵した場所を見学しました。また、環境問題が身近なところにも影響を及ぼしていることなども学びました。その後、海岸清掃をしながら、マイクロプラスチックを取り出す体験を行いました。午後からは地域おこし協力隊の方々の指導のもと、シーカヤックを体験しました。総合学科2年の大尾愛香さん(阿久根中出身)は「海のごみを減らす大切さが分かった」と感想を述べました。阿久根

の海の魅力を満喫し、自然環境を守ることの大切さを学んだ一日となりました。



鹿児島大学研究室訪問 ～「大学で学ぶ」ことを探る！～

7月1日(金)、総合学科アカデミア系列2・3年生が鹿児島大学を訪問しました。文系の生徒は教育学部と法文学部を、理系の生徒は理学部を訪問して、大学の講義の様子や研究室を実際に目にしました。大学での学びや、どのような研究が行われているかについて体感することができました。そのなかで古文書を目にしたたり、天然物からの医薬品開発の例などを説明したりしてもらうことで、自身の大学での学びはどうなるのかを想像できる有意義な機会となりました。参加した総合学科2年の小村爽椰さん(阿久根中出身)は、「実際に大学構内を歩くことで大学の本質的なものを肌で感じることができ、参考になりました」と話してくれました。



挑戦・感動
そして 愛
Since 2005



鶴翔高校
公式ホームページ